

2020年度活動計画

1 活動方針

防災や減災、災害被災地支援、復興支援には、県内外の災害対応特化活動団体として、活動の充実と、協力関係（連携）の構築、県内外の活動と情報共有及び人材育成、要配慮者への支援を行い、また、若者たちへの防災意識を高めるための研修やボランティア活動への受け入れ、被災住民や地域住民との交流を深めることで、継続的な支援と防災の意識向上を図り、被災地支援は、被災者と共に支え合える地域づくりを目指します。

また、活動に際しては、新型コロナウイルスの感染予防を徹底し、参加者の健康と安全を第一に考え、体温チェック、手指消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保を励行します。

なお、設立2年度目となる本年は、昨年度からの継続的な活動に加え、県内の各関係機関との連携強化、会員の拡大、学生や女性にも参加しやすい雰囲気づくりと情報発信、財務面での強化、運営面でもより多くの会員・ボランティアに参加していただくことを目指します。

2 災害ボランティア活動について

(1) 神奈川県相模原市藤野地区

昨年発生した土砂災害現場の復旧作業を継続して支援します。崩落した法面の応急処置及び緑化による保水力の確保、池の土砂を詰めた土嚢の撤去、倒壊した物置に代わる物置作りのお手伝いを行います。

また、被災を免れたお神輿や災害当時の写真等を活用し、復興に向けたシンボルとなる場の設置、地域住民が行う古民家や田畑の再生、借用中の資材置き場兼駐車スペースの環境整備と空きスペースを活用した地域活性化を支援します。

そして、こうした活動を通じて交流ができた地域の住民を招待したイベントの開催を企画・運営します。

(2) その他

会員や連携団体と協力し、これまでに被災した地域にボランティアとして参加し、復旧・復興現場での技術研修や地域住民との交流を行います。

また、本年度も台風シーズンを迎え、災害が発生した際には、行政や社会福祉協議会、NPO法人などと連携し、迅速な災害ボランティア活動を行います。

3 災害に備える活動について

毎年どこかで災害は発生しており、普段の防災や地域住民による災害復旧対応の必要性は増しております。また、新型コロナウイルスの感染拡大を契機に、ボランティア活動現場や避難所等における安全衛生面での対応見直しや一人ひとりの行動変容も求められています。

このため、初心者から技術者までに対応した災害支援時に使用する資機材、車両、重機等の講習会、災害復旧現場での安全講習会、感染症や心のケアなどの衛生講習会、災害時や活動報告に必要な IT 講習会を開催します。

4 財務面の強化について

上記の活動をより充実させるためにも、(公財)日本財団などボランティア活動を支援する団体が行う助成金に積極的に申請するとともに、県内の社会福祉協議会等への団体登録、寄付金の募集、独自グッズの制作・販売などによる活動資金の確保してまいります。

5 会の運営体制について

新型コロナウイルスの感染予防に配慮しつつ、会議等は Web・SNS などを活用します。役員会議については、4 もしくは 5 役会議とその他役員を含む 10 名程度の会議を 2 ヶ月に 1 回程度、全ての会員を対象とした会議を 3 ヶ月に 1 回程度開催します。

6 年間活動スケジュール

	会議、イベントなど	支援活動事業など
2020年5月	4 役会議、会員 Web 会議	相模原市藤野地区
6月	5 役会議 2020 年度通常総会 (第 2 回)	同上
7月	役員会議	児童養護施設支援活動
8月	5 役会議、会員 Web 会議	重機安全講習、安全衛生講習
9月	役員会議	重機安全講習、IT 研修
10月	5 役会議	重機安全講習、安全衛生講習
11月	役員会議、会員 Web 会議	重機安全講習、IT 研修
12月	5 役会議	安全衛生講習
2021年1月	役員会議	
2月	5 役会議、会員 Web 会議	
3月	役員会議	
4月	5 役会議	重機安全講習、安全衛生講習、IT 研修
5月	役員会議、会員 Web 会議	重機安全講習、安全衛生講習、IT 研修
6月	5 役会議、 2021 年度通常総会 (第 3 回)	

活動予算計画 (2020年度)

2020年 5月 1日 ~ 2021年 4月 30日 まで

(単位:円)

科 目	今年度決算	
I 経常収益		
1. 受取会費 正会員数 50名 賛助会員2名	31,000	
2. 受取寄付金	50,000	
3. 事業収益		0
自主事業収益(講習会参加費・物販収益)	150,000	
助成金・交付金事業(活動助成金(予定))	1,500,000	
4. その他収益		
受取利息	0	
未払金	0	
経常収益計	1,731,000	1,731,000
II 経常費用		
1. 事業費		
(1) 人件費		
研修・講習等スタッフ費(謝礼含む)	250,000	
人件費計	250,000	
(2) その他経費		
旅費交通費	40,000	
通信運搬費	60,000	
会議費	50,000	
水道光熱費	0	
資機材費	100,000	
消耗品費	50,000	
印刷製本費	30,000	
資料収集費	20,000	
車両費	58,000	
保険料	30,000	
地代家賃	0	
租税公課	0	
修繕費	0	
広告宣伝費	0	
雑費	20,000	
その他諸経費(謝金含む)	100,000	
その他経費計	558,000	
事業費計		808,000
2. 管理費		
(1) 人件費		
人件費計	0	
人件費計	0	
(2) その他経費		
旅費交通費	20,000	
通信費	30,000	
会議費	3,000	
水道光熱費	0	
消耗品費(事務費含む)	50,000	
車両費	0	
地代家賃	36,600	
租税公課	0	
特別積立金(災害時など使用のため)	300,000	
広告宣伝費	0	
雑費	20,000	
その他諸経費(前年度未払金)	423,496	
その他経費計	883,096	
管理費計		883,096
経常費用計		1,691,096
当期正味財産増減額		39,904
前期繰越正味財産額		672,987
次期繰越正味財産額		712,891

以上、2020年度 活動予算とします。

会計担当 大原・安澤

助成金・補助金等の見込みについては、活動実績により計算